

未来の駆け込み寺構想

何のために生きている？

何のために就職をする？

何のために仕事をする？

善性寺を、そんな疑問を持つ人達の駆け込み「寺」としたいと考えています。

ライフ・インターンシップができる「寺」として、世界の各拠点にて衣食住に根差した仕事を経験できる仕組みです。

生きにくいこの現代において、生きる喜びを学び、世界規模で物事を考えることができる次世代を担う人材を育成することが目的です。将来的には、AI が従来の人間の仕事をほとんどこなしてしまうと言われていています。そのような中、人間のための新しい仕事の創出、雇用の創出を目指します。

きっかけは2019年5月上旬に台湾人高校生3人が、我々の農家民宿に泊まりに来たことです。

彼女らはとても謙虚で、何でも素直に受け止める、愚痴を決して言わない、ゲストなのに皿洗いを申し出る、おみやげにも心がこもっている…

私たちにとって、その人間性に衝撃を受けました。

調べてみると彼女らは仏教系の学校の高校生とのこと。

その仏教の教えが彼女らの根底にまでしみわたっているからこそ、彼女らの人間性であると知りました。

彼女らの通っている学校は、慈濟大学といいます。

0から一人の尼が立ち上げた仏教系の教育機関ですが、もともとはボランティア団体が母体です。

その団体は今や世界規模で、東日本大震災の時に、なんと80億以上もの金額をこの一団体が寄付して下さったとのこと。

「静思語」というその尼の仏教にまつわる金言集を教科書に使う、

独自で定めた慈濟十戒を守る、素食（ベジタリアン）を推奨するなど

そういう、仏教を根底に置いた人間教育をしてきた証拠として、彼女らが存在していました。

今、日本には人間教育が必要です。

どこの宗教・宗派でも構いませんが、私達日本、いやアジアに共通する宗教といえば、仏教があります。

お寺はそういう人間教育をする場として相性はバッチリです。

そもそも仏教はそういう他者との比較ではなく、自己の内面を見つめる教えであります。

「自己を客観視すること」

これが仏教の本質であると思っています。

これを冷静にできる人材が必要です。

いま日本は極度に宗教色を排した教育が行われていますが、

宗教心を養うことがいかに重要か、彼女らのような人間を育てるかどうにかかっています。

（もちろん強制はよくないですし、この慈濟会も強制的なことは全くないようです）

その日主義、拝金主義、勝ち組負け組教育、

それらに疑問を持ち、またそのシステムに挫折し、適合できずに悩んでいる日本人がたくさんいます。

単なるお金を稼ぐ労働ではなく、ライフワークとなる労働へ、その為の仕事の創出が必要です。

【場所】

本部：福井・越前岬近くの古民家

福井をメインとしながらも、提携インターン先でも滞在可能。

【インターン先】

◎日本

- ・北海道美深町「Sea barely 農苑」
- ・北海道美深町「羊毛工房・粗清草堂」
- ・北海道札幌市「いただき繕札幌円山店」
- ・石川県金沢市「Tara の丘」
- ・京都府京都市「いただき繕京都」

など

◎海外

- ・イギリス「いただき繕ロンドン店」、「いただき繕シュールズベリー店」
- ・スコットランド「サロガ農苑」
- ・アイルランド「Roaring water sea vegetable」
- ・スウェーデンりんご農園
- ・スペイン「ナロガ」
- ・コンゴ民主共和国・カレミ「MAZAO. ONG」
- ・タンザニア・キゴマ「MIBOS」
- ・台湾・花蓮「慈濟会」

など

【期間】

1 か月から3年

※3年続けた人は、それぞれのインターン場所にて就職可能。

【仕事の具体例】

衣 羊毛服（北海道美深）

食 果実の加工（福井、北海道美深、スウェーデン）

食 レストランでの各業務（イギリス、札幌、京都）

食 商品パック詰め、商品梱包作業（福井）

住 里山作り、間伐（福井、北海道美深）

住 古民家改装（福井）

住 農家民宿でのおもてなし（福井）

住 植林（コンゴ民主共和国・カレミ、タンザニア・キゴマ）

農 無農薬自然農での田畑（福井、北海道美深）

農 千枚田の復活（福井）

農 麦の石取り作業（福井）

※ここに記載したものは一例です。仕事・作業はそれぞれの人の特性に応じてたくさんあります。

【今後の展開】

いずれは日本・世界にそれぞれ 108 ヶ所の拠点を作ること为目标としています。拠点とは、インターンシップができる場所、受け入れられる場所、すなわち衣食住があり、仕事があり、役割が当たる場所のことです。

どこにいても衣食住があるのは嬉しいことです。いつ何が起きてもおかしくないこの世の中において、日本・世界各地に拠点がある、心許せる仲間がいることは今後我々が生き延びていく中でとても大切なことではないでしょうか。

一人でも多くの方が自分の人生を生きられるように、ご連絡をお待ちしています。